

【解答例】

一

問一 人間にとって暴力とは単なる自然現象ではなく、他者と自己の間の心の関係・内面・意図などの、ネガティブな情動が中心要素となつて成立してこそ現象するものだとということ。(80字)

問二 自らの心や内面から他者が成立して暴力が生じるのではなく、暴力を被った人が自己や暴力の主体についての真剣な考察をし、計り知れない他者の存在を実感するということ。(79字)

問三 暴力とは、多様な力が秩序を保つ安定した状態と対立するのではなく、その秩序を成立させるバランスが崩れたときに顕在化するものであり、同じ一つながりの力だということ。(80字)

問四 暴力は、自身を脅かす力として人間が認識するからこそ存在するものであり、人間に自分や他者を認識させる。また、世界の安定した秩序は、それを構成する潜在的な多様な力のバランスによるものであり、暴力はその秩序が崩れ顕在化した、力のネットワークの一面に過ぎない。したがって、対象化して克服や撲滅できるものではないということ。(158字)

- 問五 (a) || 正邪 (b) || 回帰 (c) || 唐突  
(d) || 基調 (e) || 侮辱

二

- 問一 (a) || ホ (b) || イ (c) || ハ

問二 (ア) || 渡りきれないうちに

(イ) || 何とか工夫して

(ウ) || はつきりとわからないので、

(エ) || 中途半端な逢瀬だったので、

問三 わざわざ逢うため河まで渡っているのに、夜が明けたからといって帰るなどということがあろうか、いやそんなはずがない。

問四 年に一度の逢瀬で、河を渡る手立てはいくらでもあるのに、二人が逢えなかったかのようには詠んでいるから。(49字)

問五 一年待ちわびて逢えたものの、すぐに夜が明けるという短い時間だったので、まるで逢えなかったように事実とは異なる形で詠むことも和歌のならわしの一つであるということ。(80字)

問六 ロ

三

- 問一 ① || すでに ② || ひととなりを ③ || けだし

問二 (ア) || もってますべし(と)

(イ) || いまだそのころをえざるなり(と)

問三 文王様でなければ、いったい、誰がこのような曲をつくることができたでしょうか。いや、どなた様もできないにちがいありません。

問四 孔子が聴いた曲調などから、作者の落ちついた遠大である人柄と、その作者が文王であることを看破したから。(50字)